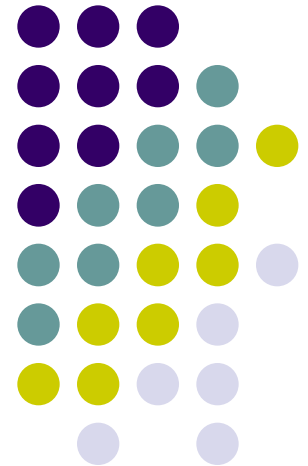
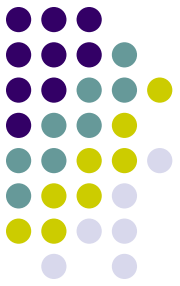


「魔法のふでばこ」プロジェクト

肢体不自由のある児童生徒への
iPadを活用した実践



佐賀県立金立特別支援学校



本校における研究の目的

1. 障がいによる困難さの改善・克服
2. 「たくましく生きていく力」の育成
3. 職員の専門性の向上

魔法を体験してみませんか??

iPadには魅力的なアプリがいっぱい。
ぜひこの機会に、操作を体験してください。
活用法のご相談にも対応いたします。



日時 8月9日(火)、10日(水)、11日(木)
8月29日(月)、30日(火)、31日(水)
14:00~15:00

場所 本校舎図書室

職員向け研修

7/27(水)

ICT研修会

8/9(水)~11(木)

8/29(月)~31(水)

iPad体験研修

9/16(金)

iPad実践情報交換会

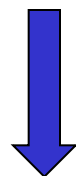
実際の活動の様子1:前期(7月~9月)



アプリケーション:うたえほん

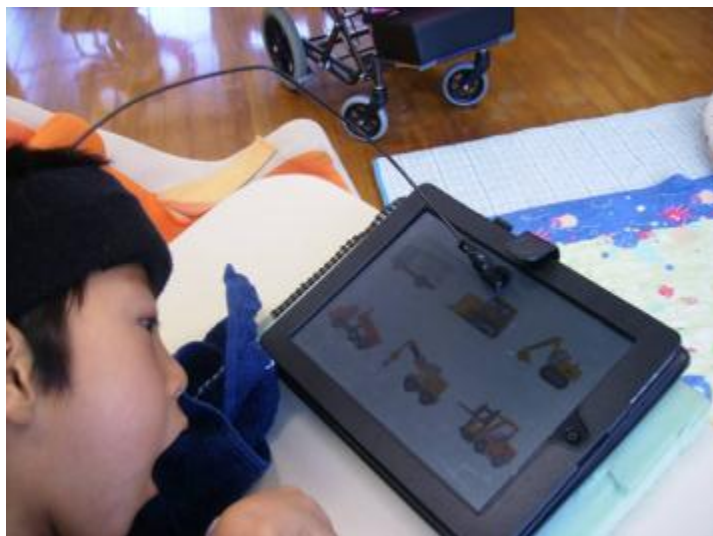
- ・明確な意思表示・意図的な手指の操作

座位保持椅子



過緊張による姿勢の不安定

傾斜のある腹臥位マット



- ・分かる「ことば」を増やす
- ・一人で取り組める余暇活動の定着

- ・頭部の動きによるポインタ操作
- ・ハンガーを伸ばして製作
- ・ポインタ先端に導電スポンジ使用



教科学習：漢字の書き取り

学習上の困難に対応して…

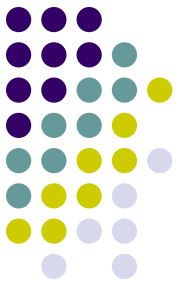
iPad

電子辞書

DS

- ・即時間違いが分かり、書き直しができた。
- ・意欲的に学習に取り組めるようになった。
- ・鉛筆使わず、画面に直接書けることで効果的だった。

各教科の目標を達成するために、どの場面で支援機器を活用すれば学習上の困難が軽減できるか検討する。



実際の活動の様子2:後期(10月～)

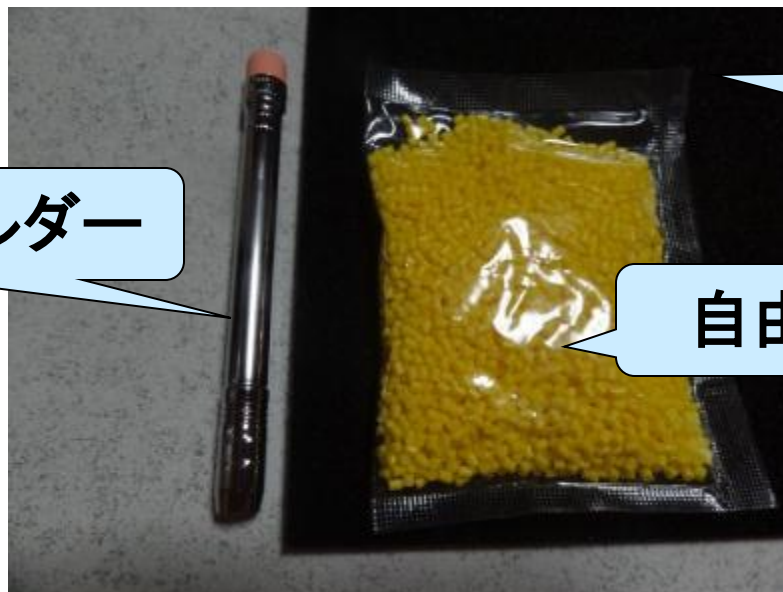
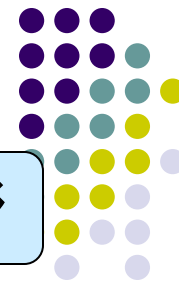
- ・iPad使用する職員が増えてきた。
- ・iPad支援員への相談が多くなった。

- ① 指導に活用できるアプリケーションは？
- ② タッチミスや指先以外の部位が当たってしまう。
- ③ 筋緊張が入ったり、姿勢が崩れたりする。

情報提供

- ・「プロジェクト」フォーラム
- ・大分特別支援教育カンファレンス
- ・長崎コミュニケフォーラム
- ・インターネット

iPad用タッチペン製作



ペンシルフォルダー

導電スポンジ

自由樹脂



握りやすくして完成



手袋の指先カット
指先を見て描きましょう。



アプリケーション: なぞりがき

タッチペンを使うと
上手く書けます。



アプリケーション: お絵かき

安定した姿勢保持

ベルトとクッション



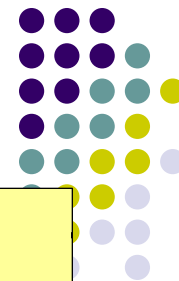
表情がよく
見えます。

アプリケーション: 動くお絵かき

自作座位補助具

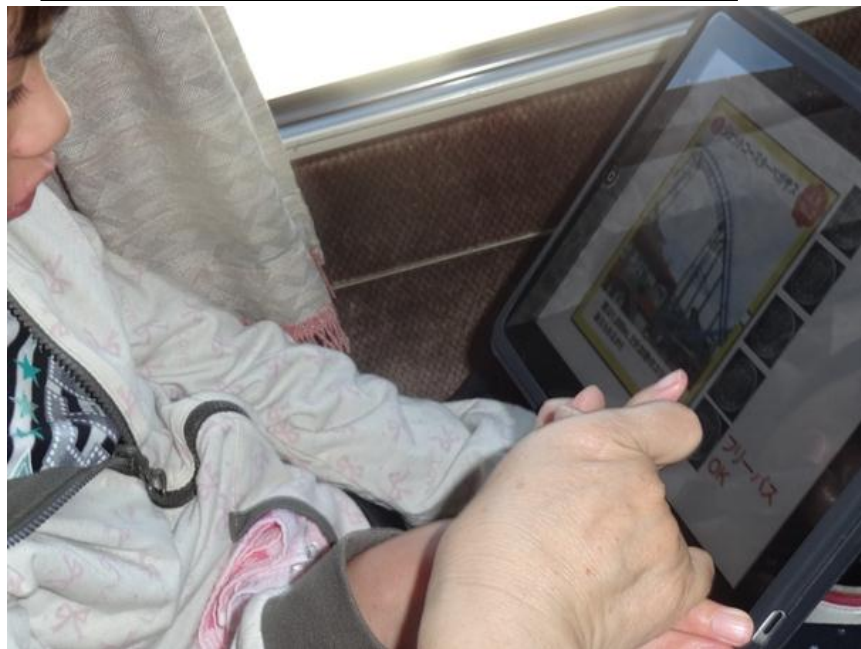


小学部修学旅行(10月27日～28日)



昼食後の活動を検討中

1日目の日程に見通しをもつ



アプリケーション:keynote



Web検索

夜の集い
明日の日程確認





〈成果〉

○夏季休業後、ICT支援員のサポートを受けながらiPadを活用をする職員が増えた。

○児童生徒の実態に応じて、持ち運びの手軽さ、タッチパネル等の機能を活用することで、自立活動、教科等の学習に継続して取り組むことができた。

○手指の操作性を必要とする作業が軽減され、計算や漢字の練習問題等に集中して取り組むことができた。

○補助具を工夫することで困難さが軽減され、学習意欲が高まった。

○校外学習や家庭でも効果的に活用できる。

課 題



○iPad は活用することのみが目的ではない。指導目標を達成する支援ツールとして、どのような場面で活用すると効果的なのか見極めることが大きな課題である。

○指導者間で実践を共有し、活用事例を蓄積していく。

○これまでの取組を評価し、次年度の指導に活かす。

○手指以外の部位が画面に当たることで、誤作動し活動が中断されることがある。安定して使える支援具の工夫が必要である。また、機器のハード面の改善を期待したい。